



平成20年3月期 第3四半期財務・業績の概況

平成20年2月15日

上場会社名 **株式会社 GSIクレオス**
 コード番号 **8101**

上場取引所：東証一部・大証一部
 URL <http://www.gsi.co.jp>

代表者 代表取締役社長 加藤 元信
 問合せ先責任者 取締役経営企画部長 松下 康彦

TEL (03) 5211 - 1802

(百万円未満切捨て)

1. 平成20年3月期第3四半期の連結業績(平成19年4月1日～平成19年12月31日)

(1) 連結経営成績 (%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期第3四半期	89,279	(2.6)	1,233	(-)	827	(-)	261	(-)
19年3月期第3四半期	87,037	(5.2)	84	(-)	254	(-)	378	(-)
19年3月期	114,474	-	388	-	677	-	1,636	-

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
20年3月期第3四半期	4	05	-	-
19年3月期第3四半期	5	87	-	-
19年3月期	25	39	-	-

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
20年3月期第3四半期	62,563		10,337		16.2		156 84	
19年3月期第3四半期	67,951		11,937		17.2		185 22	
19年3月期	64,255		10,527		16.0		159 96	

2. 平成20年3月期の連結業績予想(平成19年4月1日～平成20年3月31日)

現時点において、平成19年11月15日に公表しました連結業績予想に変更はありません。

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	108,000	(5.7)	1,000	()	500	()	350	()	5	43

3. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)：無
 (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無：有
 (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無：無

(注) 詳細は、2ページ【定性的情報・財務諸表等】 3. その他 をご覧ください。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記業績予想は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。従いまして、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第 3 四半期におけるわが国経済は、設備投資や輸出の増加などに支えられ、緩やかな回復基調で推移しました。しかしながら、サブプライムローンに端を発する米国景気の減速や原材料価格の高騰などにより、景気の先行きに不透明感が強まりました。

このような状況下、当社グループは目標利益の確保に向け、婦人アパレル事業の合理化と非効率事業の根絶、経費削減ならびに新ガバナンス体制を柱とする経営改革策に引き続き取り組んでまいりました。

当第 3 四半期の連結業績は、売上高が前年同期比2,242百万円増収の89,279百万円となりました。

これを事業部門別にみますと、繊維関連事業では、低採算のO E M事業からの撤退などがあったものの、インナー用の原材料および製品の取り扱いや欧州向けを中心とする生地の実輸出が好調を維持しましたので、売上高は前年同期比2,296百万円増収の68,751百万円となりました。一方、非繊維関連事業では、機能性樹脂をはじめとする化成品の取り扱いが好調に推移いたしましたが、低収益事業から撤退したこともあり、売上高は前年同期比54百万円減収の20,527百万円となりました。

損益の状況をみますと、売上高の増加に加え、婦人アパレル事業の改善が進みましましたので、売上総利益は前年同期比756百万円増益の10,464百万円となりました。また、人件費を中心とした経費の削減も奏効し、営業利益は前年同期比1,318百万円増益の1,233百万円、経常利益は前年同期比1,081百万円増益の827百万円、四半期純利益は前年同期比639百万円増益の261百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第 3 四半期における総資産は売上債権の増加があったものの、現金及び預金、たな卸資産、有形固定資産、投資有価証券の減少などにより、前期末比1,692百万円減少の62,563百万円となりました。

また、純資産につきましては、前期末比189百万円減少の10,337百万円となりましたので、自己資本比率は16.0%から16.2%となりました。

3. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

税金費用の計上基準については、法定実効税率をベースとして計算しております。

その他影響額が軽微なものについては、一部簡便的な方法を採用しております。

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

該当事項はありません。

4 . (要約) 四半期連結財務諸表

(1) (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位 : 百万円)

期 別 科 目	当第 3 四半期末 (平成19年12月31日現在)		前第 3 四半期末 (平成18年12月31日現在)		増減金額	(参考) 前連結会計年度末 (平成19年 3 月31日現在)	
	金 額	構成比%	金 額	構成比%		金 額	構成比%
(資 産 の 部)							
流 動 資 産	49,935	79.8	54,642	80.4	4,707	50,519	78.6
現金及び預金	8,445		10,790		2,344	10,354	
受取手形及び売掛金	31,553		32,706		1,152	29,820	
たな卸資産	9,155		9,631		476	9,757	
その他	781		1,514		733	587	
固 定 資 産	12,627	20.2	13,308	19.6	681	13,736	21.4
有形固定資産	5,851	9.4	6,021	8.9	170	6,007	9.4
無形固定資産	206	0.3	285	0.4	78	271	0.4
投資その他の資産	6,570	10.5	7,001	10.3	431	7,457	11.6
資 産 合 計	62,563	100.0	67,951	100.0	5,388	64,255	100.0
(負 債 の 部)							
流 動 負 債	49,845	79.7	52,694	77.6	2,848	50,562	78.7
支払手形及び買掛金	22,239		23,814		1,574	21,041	
短期借入金	24,371		25,998		1,626	25,762	
一年以内返済予定 長期借入金	84		83		0	97	
一年以内償還予定社債	-		8		8	10	
事業構造改善引当金	156		-		156	751	
その他	2,993		2,790		203	2,898	
固 定 負 債	2,379	3.8	3,319	4.9	939	3,165	4.9
社 債	-		10		10	-	
長期借入金	567		667		99	612	
退職給付引当金	1,299		1,430		130	1,429	
長期未払金	-		118		118	117	
その他	512		1,094		581	1,005	
負 債 合 計	52,225	83.5	56,013	82.5	3,787	53,727	83.6
(純 資 産 の 部)							
株 主 資 本	9,885	15.8	10,943	16.1	1,057	9,627	15.0
資 本 金	7,186		7,186		-	7,186	
資本剰余金	908		2,871		1,962	2,871	
利益剰余金	1,836		927		909	387	
自己株式	46		41		4	43	
評価・換算差額等	219	0.3	776	1.1	557	681	1.1
その他有価証券評価差額金	351		896		545	779	
繰延ヘッジ損益	17		8		8	1	
為替換算調整勘定	149		129		20	96	
少数株主持分	232	0.4	217	0.3	14	218	0.3
純 資 産 合 計	10,337	16.5	11,937	17.5	1,600	10,527	16.4
負 債 及 び 純 資 産 合 計	62,563	100.0	67,951	100.0	5,388	64,255	100.0

(2) (要約) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

期 別 科 目	当第 3 四半期 自 平成19年 4 月 1 日 至 平成19年12月31日		前第 3 四半期 自 平成18年 4 月 1 日 至 平成18年12月31日		比 較		(参 考) 前連結会計年度 自 平成18年 4 月 1 日 至 平成19年 3 月 31 日	
	金 額	売上高比%	金 額	売上高比%	金 額	増減率%	金 額	売上高比%
売 上 高	89,279	100.0	87,037	100.0	2,242	2.6	114,474	100.0
売 上 原 価	78,814	88.3	77,328	88.8	1,485	1.9	101,545	88.7
売 上 総 利 益	10,464	11.7	9,708	11.2	756	7.8	12,929	11.3
販売費及び一般管理費	9,231	10.3	9,793	11.3	561	5.7	13,317	11.6
営業利益又は営業損失()	1,233	1.4	84	0.1	1,318	-	388	0.3
営業外収益	245	0.2	270	0.3	24	9.2	478	0.4
営業外費用	652	0.7	440	0.5	211	48.1	766	0.7
経常利益又は経常損失()	827	0.9	254	0.3	1,081	-	677	0.6
特別利益	74	0.1	114	0.1	40		532	0.4
特別損失	408	0.4	45	0.0	363		947	0.8
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期(当期)純損失()	492	0.6	184	0.2	677	-	1,091	1.0
税金費用	203	0.3	182	0.2	21		532	0.4
少数株主利益	27	0.0	11	0.0	16		11	0.0
四半期純利益又は 四半期(当期)純損失()	261	0.3	378	0.4	639	-	1,636	1.4

(3) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

当第3四半期(自平成19年4月1日 至平成19年12月31日)

(単位:百万円)

	繊維 関連事業	非繊維 関連事業	計	消去 又は全社	連結
・売上高及び営業損益 売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	68,751	20,527	89,279	-	89,279
(2) セグメント間の内部売上高 または振替高	0	85	85	(85)	-
計	68,751	20,613	89,364	(85)	89,279
営業費用	67,410	19,821	87,232	813	88,045
営業利益又は営業損失()	1,340	791	2,132	(898)	1,233

前第3四半期(自平成18年4月1日 至平成18年12月31日)

(単位:百万円)

	繊維 関連事業	非繊維 関連事業	計	消去 又は全社	連結
・売上高及び営業損益 売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	66,455	20,581	87,037	-	87,037
(2) セグメント間の内部売上高 または振替高	0	14	14	(14)	-
計	66,455	20,596	87,051	(14)	87,037
営業費用	66,040	20,275	86,315	805	87,121
営業利益又は営業損失()	414	320	735	(820)	84

(参考) 前連結会計年度(自平成18年4月1日 至平成19年3月31日)

(単位:百万円)

	繊維 関連事業	非繊維 関連事業	計	消去 又は全社	連結
・売上高及び営業損益 売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	86,958	27,515	114,474	-	114,474
(2) セグメント間の内部売上高 または振替高	0	16	16	(16)	-
計	86,959	27,532	114,491	(16)	114,474
営業費用	86,836	27,017	113,853	1,009	114,863
営業利益	122	515	637	(1,026)	388

(注)(1) 事業区分は、当連結企業グループの取扱う製品や役務の種類、市場の類似性等を考慮し、繊維関連事業と非繊維関連事業にセグメンテーションしております。

(2) 各事業区分の主要な商品

繊維関連事業・・・化合繊系, 化合繊織物, 肌着, 靴下, 婦人服, 紳士服

非繊維関連事業・・・機械, 化成品, 理化学機器, 家具, 紙管, ホビー, 花火, 不動産管理等のサービス

(3) 営業費用のうち消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用は、親会社の管理部門に係る費用であります。